

令和元年度 第1回今治市総合教育会議 議事録

- 1 日時 令和元年5月13日(月)
午前10時30分～午前12時
- 2 場所 今治市役所本館2階庁議室
- 3 出席者 今治市長 菅 良二
今治市教育委員会
教育長 八木 良二 委員 村上 浩一
委員 篠宮 博幸 委員 西原 梨乃
委員 仁志川由香里
(事務局関係)
総務部長 矢野 隆治
総務部総務調整課長 片上 裕之 同課課長補佐 宮崎 晃嘉
同課主事 越智 健太
教育委員会事務局長 林 秀樹
事務局次長(総務課長) 村上 誠二
事務局次長(学校教育課長) 田坂 敏
社会教育課長 神野 秀夫 文化振興課長 富田 義勝
スポーツ振興課長 松本 典久 学校給食課長 塩見慎一郎

議題1 今治市教育振興に関する大綱について

現在の大綱を1年延長し、令和2年度に見直しをする総合計画の基本計画の策定にあわせ大綱を検討し、その際に総合計画の基本計画そのものを教育振興に関する大綱に代えることも検討する。

総合計画の基本計画は、教育振興に関する大綱に置き換わることも意識しながら教育委員会及び総合教育会議の事務局である市長部局、教育委員、いろいろな方々と情報共有を図り、協議をしながら策定する。

議題2 道徳教育について(報告)

今まで「教科外」であった道徳が小学校では昨年度から、中学校では今年度から正規の教科として実施されることになった。教科となった背景やこれまでとどう変わったのか説明

以前は教科として位置づけられていなかったために人間の生き方を考え学ぶ道徳の大切さを認識しながらも、きちんと学ばれていなかったという背景がある。教科化のきっかけは2011年に大津で起きたいじめ自殺事件、重大な少年犯罪の増加があり、安倍内閣がいじめ対策の一つとして道徳を授業数や内容が確保された教科に格上げし心の教育の充実を図ることとなった。

(委員の意見)

- ・その人らしい生き方ができるような、そういう子どもを育てていくことが大事
- ・昔は家庭で学ぶことがいっぱいあったが、今はそれぞれの事情がある。学校での補完、サポートは非常に大事
- ・子どもはすごく吸収しやすい。しかし、できない子もいるので、足りないところがある生徒さんに対して学校現場がどういうふうに対処していくかというのが大事。その辺りも合わせて指導していただきたい。
- ・子どもはいるだけでいい。よく頑張っているねと言ってもらえるチャンスがあるほうが人間生きやすい。
- ・ちょっと手を添えるさりげないやさしさが大切。独特の感性かもしれないが、それに磨きをかけてもらいたい。

議題3 その他

1 部活動について

生徒数の減少によって運動部の部員数は全体的に減っている。単独でチーム編成できにくくなっている。

小学生から社会体育でやっている野球、サッカーなどは中学から新たに入部する傾向は少ない。一方卓球、ソフトテニス、陸上は中学校からでも入部し易い傾向にある。

顧問が付かないと事故等に対応できないので、活動はできない。外部指導者（昨年の総体時25名）、あくまで顧問の補助、外部指導者だけの指導、引率はできない。部活動指導員という制度があるが報酬もかかるので配置しにくい。（今治では0名）

(委員の意見)

- ・社会体育も勝利至上主義になってはいけないが、どうしてもその傾向がある。そうすると子どもの中でいじめが起こったりとか、親同士で不仲になったりとか、というのが原因で中学校でやらないという子が出てくる現状がある。
- ・スポーツだけにとらわれず、先ほどの道徳の話に通じるが大人も一緒に考えていけないといけない。
- ・部活動の目標は勝つことで、目的は人を育てること。指導者は勝つことを通して子どもを頑張らせ、子どもはいろんな経験を通して人として成長していく。
- ・試合に出れない子もいる。フォローも含めて部活動。苦しい練習に耐えてきたことが将来にすごく生きるんだということ、続けることの意味、そしてそこで会得したことなど、ぜひ指導していただきたい。

2 読書について

(委員の意見)

- ・十分いろんな対策をしていただいている。その結果、年々読書量が増加している傾向にある。しかし、よく読書をする子としない子の2極化傾向にある。

- ・最近流行っているビブリオバトルというのを小さなころからやってみるのもどうか。自分で自己表現をする場を設けて、本への理解とか自分への理解につながるのではないか。
- ・読書の習慣を定着させていただきたい。

3 その他

- ・DVや虐待の疑いがあるのだけれども、個人情報や壁があり、細かい情報がつかめないということがあるので、手遅れにならない対策をお願いします。
- ・千葉の問題でもそうですが、学校現場としては何かあればすぐに校長、教頭のところに駆けつけて相談ができるようにし、若い先生を受け止めてあげてほしい。場合によっては、すぐに警察にも相談してほしい。

以上